

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		衣料品専門店（経営者）	・例年、春から夏にかけての景気は上向いていく。今の状況よりは良くなるとみられる。
		コンビニ（経営者）	・暖かくなると年配の来客数が伸び、食料品が売れるようになる。
		観光名所（職員）	・来客予約数の動きから、やや良くなると判断した。
		ゴルフ場（経営者）	・4月以降は、客単価が若干下がるとみられるが、入込数はそう悪くない。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅展示場への来場客数に対して商談件数が増えている。
		百貨店（店舗企画）	・免税売上の推移や食品売上の推移が上向き傾向であることから、やや良い方向で推移すると予測している。
		スーパー（販売企画）	・客数のマイナスは競合店の影響だと考えられるが、原因ははっきりしない。買上点数のマイナス分を単価でカバーできていない状況であり、現状は続くともみられる。
		コンビニ（代表者）	・当社においては、カード類での売上低下がみられるが、全体としては堅調に推移している
		衣料品専門店（経営者）	・新商品に対する購買意欲があまり感じられず、景気が良くなるとは見込めない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・繁忙期が落ち着いてくると思われるが、大きく変わる要因は見当たらない。
		旅行代理店（マネージャー）	・ゴールデンウィークの日並びに若干期待するが、単価が高く設定されているので、どこまで伸ばせるかは不透明である。
		通信会社（サービス担当）	・携帯業界も新規契約は飽和状態が進み、機種変更が多い格安スマホ、他社からの切替えで多少動きがある状況である。
		住宅販売会社（代表取締役）	・設計プラン作業を進めている客も相当数あり、今後も建築受注は順調に推移するとみられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・予約状況から推測できる今後2～3か月先の客室稼働率は前年同月実績を上回る見込みだが、今月よりはプラス幅が小さい。
		通信会社（店長）	・特に景気が上向きとなる要素が見当たらず、例年落ち着いてしまう時期なので期待はできない。
	x	商店街（代表者）	・観光客は商店街には訪れるが、売上は上がらない。婦人衣料等が2～3日も売れないということも耳にする。物販の中でも婦人衣料、紳士衣料の厳しさが際立っているように見られる。また、空き店舗が出ると、手軽にできる立ち飲み屋や飲食店が小規模で出てきている状況であるが、環境の悪さへの指摘もある。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・自店舗も求人難が続いており、スタッフがそろわないと集客ができないうえ、人件費が高騰している。県外の人材や障がい者、高齢者の採用も始めている。この状態は続くともみているので、人を使わない事業形態に転換していかなければならない。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		輸送業（営業）	・インバウンド効果により、いくつかのカテゴリーの取扱貨物が若干増えている。また、数か月前から荷主に要望している受託料金の改定が徐々に進んでいる。従業員の待遇改善を並行して進めることで、生産性も向上しつつある。
		食料品製造業（総務）	・日頃口にする食料品の消費動向が低価格指向になりつつある気がする。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新年度も前年度同様の見通しである。
		建設業（経営者）	・今月の仮契約申込件数が横ばい状況である。
		輸送業（代表者）	・生コンは、離島のリゾート関連民間工事が動き出しており、公共工事でも、建築工事や港湾整備工事が本格化している。ただしアスファルト関連は、一休みの状態となっている。
		x	コピーサービス業（営業担当）
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数が増加する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・季節柄、新しい風が吹く。それに伴う動きから景気が良くなるとみられる。
		人材派遣会社（総務担当）	・依然として、求職者が集まらない状況が続いており、企業へのマッチングに苦労している。

	学校 [大学] (就職担当)	・大卒求人が解禁され、企業の求人活動が活発になってきた感がある。実感としては、前年同様の印象を受けており、向こうしばらくはこのペースのまま推移するものと予想している。
	求人情報誌製作会社 (編集室)	・3月は年間を通して一番求人件数が増加する月である。3月と比較すると4～5月は若干減る傾向にあり、6月は更に減少すると思われる。
x	-	-